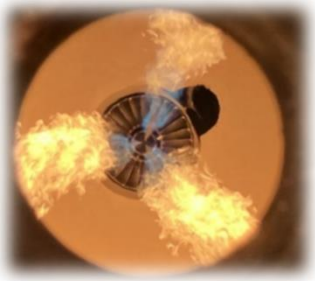
ボルカノ（株）の事業基盤強化計画（抜粋）

別紙

企業概要

- 1928年の創業以来、「燃焼技術のエキスパート」として、船舶・陸上産業向けの「燃焼機器」の開発・設計、製造・据え付け、メンテナンス業務を行ってきた。
- 大型LNGタンカーを動かす主機ボイラ用バーナから、船内・熱源などに用いる補助ボイラ用バーナまで豊富な納入実績がある。



- 近年は、アンモニア、水素をはじめとした新燃料対応機器の開発・製造に取り組んでおり、新たに開発したアンモニア燃料船用ガス燃焼ユニットが世界初の商用アンモニア燃料タグボート「魁」（船主：日本郵船㈱）に採用される等、世界に先駆けた商用化を実現している。

計画の概要

- メタノール・アンモニア・水素燃料対応機器の出荷試験設備を拡張し、最大燃焼量を約1,300kW（小型船向け）から7,000kW相当（中型船向け）まで増強することにより、新燃料対応機器の量産化を図り、製品ラインナップの幅を広げる。
- 併せて、新たな集中管理モニタを導入することにより、出荷試験に要する時間を短縮し、生産能力の向上を図る。

＜計画実施期間＞　2025年6月～2029年9月

＜実施場所＞　ボルカノ㈱　三田事業所（兵庫県三田市）